

CONTENTS

目次

- 3 新春のごあいさつ
 - ◎荻窪法人会会長／水島隆年
 - ◎荻窪税務署署長／鈴木 誠
- 5 第1ブロック役員座談会
- 12 会員増強運動[中間報告]
- 14 新ブロック長に聞く
 - ◎第3ブロック長／山下達雄
- 16 新支部長訪問
 - ◎第28支部長／相馬秀行
 - ◎第9支部長／高橋秀見
- 18 第1回ブロック対抗ゴルフ大会
- 19 秋のブロック バス研修会
- 22 パソコン教室
 - 広報副委員長／上田仁士
- 24 税務コーナー
- 26 納税表彰式
- 26 委員会・部会報告
 - 厚生事業委員会
 - 社会貢献活動事業委員会
 - 青年部会
 - 女性部会
 - 源泉部会
 - 平成14～15年度行事予定
 - トピックス



【小柴昌俊 (こしばまさとし)】

昭和元年 愛知県に生まれる
昭和26年 東京大学理学部物理学科卒業
昭和30年 ロチェスター大学大学院修了
昭和45年 東京大学理学部教授
昭和49年 東京大学理学部に高エネルギー物理学実験施設(現東京大学素粒子物理国際研究センター)を設立、ドイツ電子シンクロトロン研究所(DESY)における国際協同実験DASP、JADEを組織
昭和60年 ドイツ連邦共和国功労勲章大功労十字章受章
昭和62年 定年退官、東京大学名誉教授
～平成9年 東海大学理学部教授
平成14年 ノーベル物理学賞受賞
■東京大学名誉教授
■東海大学理学部教授
■世界で初めて超新星爆発からのニュートリノの観測に成功、これによりニュートリノ天文学という新しい学問を切り開く
Super-Kamiokande 実験(Kamiokande の次期計画)においてニュートリノに質量があることを世界で初めて発見
■現在杉並区下井草に在住。

Wish you the compliments of the season.

新春のごあいさつ

荻窪法人会会長
水島隆年



今年もさらに活発に活動

明けましておめでとうございます。
法人会の皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は、当法人会の諸事業に対して深いご理解と強力なご支援をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、わが国の経済も政治も長期にわたり暗雲の中を行きつ戻りつしている状況であります。

はたして小泉行政構造改革内閣は、ところによっては大変有望な地方の行政、例えば山田杉並区政のように、光明をみだし得るのでしょうか。

しかし昨年12月には、下井草在住の小柴昌俊東大名誉教授がノーベル物理学賞に輝き、サッカーワールドカップでは次代を担う若者たちがベスト16強になったり力強い底力も感じられたことでした。

法人会活動につきましても、多くの役員さんや共済関係の方々のご活躍により加入率70%を超え、東法連49会のなかでも第3位の地位を確保しております。

また、昨年初めて開催しましたブロック対抗ゴルフ大会や各ブロック日帰りバス旅行、特別研修会、東京湾納涼

船、チャリティーコンサート、落語を楽しむ会などには誠に大勢の会員さんがお元氣にご参加していただき深く感謝している次第であります。

今年も各委員会、各ブロック・支部、各部会がさらに活発に活動を行いますので、会員の皆様には積極的にご支援くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成15年が希望に満ちた年でありま
すよう、会員の皆様のご健勝とご繁栄
をご祈念申し上げ新年のごあいさつと
いたします。



Wish you the compliments of the season.

新春のごあいさつ

荻窪税務署署長
鈴木 誠



今後も良き理解者として

新年あけましておめでとうございます。

平成15年の年頭に当たり、社団法人荻窪法人会の会員の皆様方に謹んで新年のお祝いを申し上げます。

旧年中は、水島会長をはじめ役員並びに会員の皆様方には、税務行政の全般にわたり、深いご理解と暖かいご支援を賜り、誠にありがとうございました。お陰をもちまして、当署の事務運営も円滑に推移し、新年を迎えることができました。これもひとえに、皆様方のお力添えの賜物と心から深く感謝申し上げます。

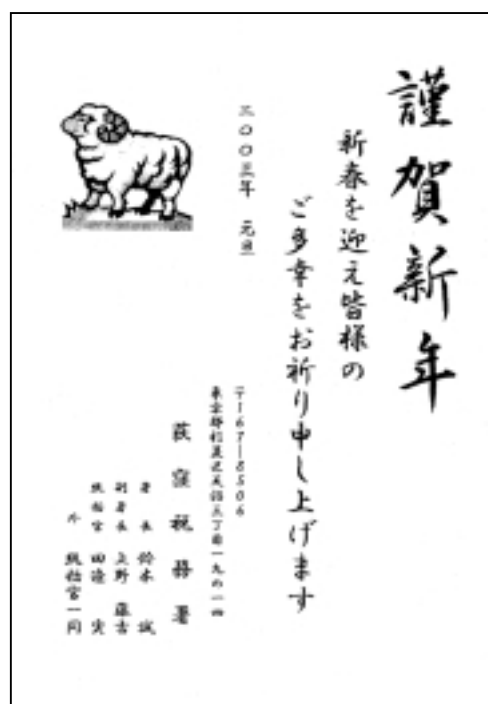
昨年の荻窪法人会の活動を顧みますと、組織基盤の拡充のため会員増強運動を強力に展開される一方、会員のニーズに応じた各種講演会や税法等の研修会、更には地域に密着した社会貢献事業など幅広い活動を積極的に展開され、こうした事業活動を通じて正しい税知識の普及と納税道義の高揚に大きく寄与されてこられました。

会を挙げての皆様方の真摯なご尽力に対しまして、深く敬意と感謝の

意を表する次第であります。

今後とも、税務行政のよき理解者として、なお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、2月になりますと平成14年分所得税及び贈与税の申告時期を迎えますが、本年の確定申告におきましては、「自書申告の一層の定着」に向けた相談体制で臨むこととしておりますので、格別のご理解とご協力の程お願い申し上げます。また、「早期提出」と「期限内納付」につきまして、引き続きより一層のご協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。結びに当たり、新しい年が皆様方にとって素晴らしい年となりますようお祈り申し上げますとともに、社団法人荻窪法人会の、益々のご発展と会員の皆様方のご健勝と事業のご繁栄をご祈念いたしまして、新年のあいさつとさせていただきます。



第1ブロック 役員座談会

第1ブロックは法人会のモデルブロックと言っても過言ではありません。加入率も高く、

研修会の出席人数もたいへん多いブロックです。

予算運営も独自性を遺憾なく発揮して、

ますます意気盛んです。

誌上座談会で秘訣を探りたいと思います。



【座談会出席者】(敬称略)

佐藤則好第1ブロック長

太田順一第2支部副支部長

佐藤安彦第3支部長

五十嵐良夫第4支部長・副ブロック長

須田三好第5支部長

田中盛雄第1ブロック会計

鹿野修二広報委員副委員長

先達の築いた 組織を継承

鹿野修二広報委員会副委員長・広報誌では今回が3回目のブロックの役員座談会になります。

本来は「融和」というタイトルでしたが、第1ブロックは編成替えが無かったので主旨を変えて、ブロックの中ではモデルケースになる立派なブロックだと思っていますので、その辺の秘訣をぜひ聞かせていただきたいと思っています。

佐藤第1ブロック長…過分なお言葉をいただいたんですが、何の組織でもそうだと思いますが、私は組織の充実度というのは1年2年で決まるものではなくてやはり長い年月、要するに先達の人たちが第1ブロックを立派にしたと思っています。

私も支部長を経験して一番感じるのは、やっぱり支部長と副支部長のリーダーシップ、行動力が組織の活性化の原点だろうと思っています。これは組織増強にしても、組織内の充実度、いろいろな会への参加もやっぱり支部長の手腕にかかっていると私は思っています。

第1ブロックは幸いにして情熱のある支部長さんの集まりですから、おのずと答えが出てくると思っています。ブロック長はまとめ役といいますか、

皆さんの方向づけとかいろいろなことをやるだけで、特にブロック長としての立場では多く動くことはあまりありませんので、支部長さんの力に頼っているというのが現状です。

鹿野…優秀な支部長がそろっているという話ですが、支部長から見たブロックのあり方、現状というのはどうなんですか。五十嵐良夫第4支部長…優秀であるかどうかというよりも、先ほど佐藤ブロック長が言われたように、先人の方々の骨格づくりでそういう雰囲気が出来上がったということです。それを我々は大事に継承してきているということ、その取っかかりで、優秀な支部長といえやはり表彰された市川さん。これは第1ブロックばかりではなくて、荻窪法人会全体の各支部に与えている影響というのは、あの支部長の活躍によってかなり刺激された部分があるだろうと私は思います。

ただ第1ブロックへ来ると、それが当たり前になってしまっているわけですよ。珍しいのではなくて、そういう面ではもう当たり前の世界に入っていると思います。

じゃあどういう当たり前なんだという、まずやれることからやる。しかも佐藤さんになってから、そういう点では何か一つやれることをやろうよと。ただ集まって意見交換するだけじゃ意味がないじゃないかということで、いろ

いろいろな行事が具体的に行われている。

やはり僕は何といっても、支部が法人会の組織力の一つの原点だろうと思います。支部長とか副支部長を経験しないで、本部の役員になる人がいらっしやるわけですよ。組織運営上、そういう点で例えいろいろな本部に対する不満の意見も出ますけれども、やはり法人会というものを長く正しく運営していくとなれば、支部長経験、ブロック長経験、あるいは各組織の委員の経験とかを踏まえて役員をやっているのがベストという方もおられますね。

第1ブロックは、そういう原点がきちんとしていた所です。さらに佐藤ブロック長になってから、余計にそういう輪が強くなりました。ブロック長のリーダーシップというか、発想がすばらしいということです。

発案としても、実績としては税金のクイズも第1ブロックから出たわけですから。税金クイズはそれが今全国ネットで広がりました。あれは第1ブロックからなんです。

一番最初におもしろ半分で税務研修会の後にやったわけですから。そういうふうユニークなブロックなんです。私は税制の副委員長もやらせてもらっているんですが、ちなみにこの間パスの中でテストをやりました。そういうおもしろいことをやるわけですよ。

研修会ですから、やはりバスの中でもブロック長なり各支部長が案を出して「参加してよかったな」ということが大事だと思っています。

佐藤安彦第3支部長…私もここに古くから住んでいます。風土というのか井草あたりは今落ちついてきて、その中で会社を創立して商売をやっていると、何となく人柄とか地域の人たちの人情味というのか、ややもすればちょっと下町風なところもございます。

そういう中で法人会活動も比較的、融和がとれていると思います。会員増強で新しい会社の方にお話をしてもそっけないこともうかがわれないし、ある程度話が弾んで商売の苦しみとか、お互いに隣組の感覚で、「何かあったらひとつお手伝いしますよ」というものがこの地域の方々はありますね。

それぞれの商売も多種にわたっておりますけど、環状8号線がこういう形になる以前は、オリンピック前と後、それから昭和50年代になってから大分変わりました。早稲田通りと環状8号線の道路が整備されていくにしたがつて、それぞれの地域の方の動きや商売の内容も変わったりしましたが、住んでいてこの地域は住みやすいというお話も聞いています。

緑もありますし学校も比較的整備され、井萩中学も建てかえたり、あるいは桃井第五小学校も今はお年寄りのケ

アの関係を取り扱っていたり、幼稚園にしてもある程度地域の方が入りやすいというのか。小学校・中学校の受験準備ができるのか、そんなことも娘たちとか若い人たちからいろいろ聞きます。上井草、井萩、下井草というのが北側と南側では多少は違いますけれども、井草の森ができた、この沿線伝い、道路伝いのいろいろな問題があっても比較的住みやすいと思います。防犯上の問題の話も聞いておりませんし、そんなところが法人会の活動の中でも根底にはあると思います。

みんな友達になる

鹿野…加入率・出席率が高いのは地域性が関係しているのでしょうか？

井上正人第1支部長…そういうところはちよつとわかりませんが、私の場合は法人会に入ってから今期初めて支部長をやったんですが、出席率がいいとか加入率がいいという話を聞いていましたから、とにかくブロック長を初め他支部の支部長さんも一生懸命やっています。すごい実績を残している方たちばかりだったので、正直ついていくというのか、ついていけないのですが、離れる距離を極力少なくという感じで一杯でした。そういう方たちがいらっしやうたから多少なりともついていけるというのか。本当にやうとやうというのが印象です。

須田三好第5支部長…私も実際に法人会に加入させていたでいて、まだ10年たっています。まだ会社が若いこともありまして、また今の今川にきたのもまだ5年ということで、5年内で非常に私はいろいろな意味で勉強しました。

第1ブロックの会計を2年やらせていただいて、やうと私も雲をつかむような感じで第5支部長として1期を何とか終わろうとしているわけです。

先ほどブロック長がおっしゃっていたように、先人の方たちが築いた歴史のある第1ブロックの中で私は第5支部長としていられることが非常に幸せです。そういう中で私どもは皆さんに育てられていっているのかなというのが今のところの実感です。ですから、できる限り精いっぱい皆さんの協力を得ながら頑張っていきたいと思っております。

太田順一第2支部副支部長…私も法人会へ入って10年ぐらいます。「どうだ」ということで誘っていたのが市川支部長なんです。正直言って半分ぐらいは出ていませんでしたが、だんだん出るようになりました。

この会は第1ブロックしか知りませんが、非常に効率的にうまう行事が運営されている。「ああ、うまういっているね」と。自分の本業をやりながらですから、そんなに時間を費やすことはで

きませんよね。でも1年間の行事を決めて、各行事も個々にそつなくこなしている。

なぜかなと思うと、やっぱりブロック長を初め支部長がみんな友達だったんですよ。会に入る前に友達の方もいるけれども、入ってから友達の方がほとんどだと思うんです。何でいがみ合わないで友達になってしまっただろうなど。人間性ですよ。そういう空気がこのブロックにあるんです。また、そういう人しか入ってこないんじゃないですか。だから物事はうまくいく結果、加入率もいいし行事を行えば出席率もいいと。

ただ表面には出ないかもしれないけれども、あれはよくなかったとかいいとか、そういう話は結構出ますよ。当支部も女性の方から、「この間の研修会はよくなかったよ。いい話をしているんだけど、私にはピンと来ない」とか、「額が大き過ぎてわからない」とかバンバン言いますから。1回決めて、来られない人はしょうがない。でも、来られなくてもやっぱり行くかなというふうになっちゃうんですよ、みんながね。その日はだめなんだけれども。そういう空気があるんでしょうね。第1ブロックのブロック長がパパツと言う人ですから、いい空気が流れて蔓延しているんですよ。これが秘訣というか、私を感じたことです。

市川さんの奥さんの味噌汁は名物

鹿野：僕は座談会とか組織委員会に時々顔を出させてもらいますが、市川さんの会員増強の方法について必ず発言される方がいるんです。特に市川さんのところは奥さんも一緒に一生懸命になってやられているというので。

太田：私たちの支部は周りから見たら多いのか少ないのかわかりませんが、事あるたびに集まって話をします。「じゃ、みんなを集めようか」とか、支部長には必ず報告するんです。ブロックのときも報告しますけれども、「じゃあ事務局に頼んで送ってもらえ」と。そうすると「じゃあ、みんな集まるよ」ということで。そういうときに必ず奥さんが出席します。

当会は昔、私が入ったときはいつも夕方だったんです。夕方でお酒が入るんですよ。そうすると女性の方が嫌だと言う。酒を飲まない人も嫌だと言う。じゃ、昼休みにしましょうかと。仕出し弁当に市川さんの奥さんの手製のおみそ汁。ずっと奥さんがおみそ汁をつくってくれていて、名物おみそ汁になったんです。そういうことで奥さんも非常に貢献されて、当支部では支部のお金ではなく自分たちのカンパで、市川さんのお誕生日と市川さんの奥さんのお誕生日とか必ずみんなでおめで



とうございますという話をさせてもらっています。

鹿野：前回の第3ブロックの座談会でも市川さんの話が出まして、法人会を活性化するためには若返りをすべきだと話をしたら、市川さんを見ろという話になり「あれだけ頑張っているのに、若返りを言うのはちょっと早いんじゃないか」と。一番頑張ってくれている人は、もつともつとこの先も活躍してもらおう方がいいんじゃないかという話が出ました。

五十嵐：私もそのとおりだと思います。年をとったからどうのこうのではなくて、やはり前向きにきちんと取り組ん

でいるかどうかということが評価の一つなんじゃないかということで、年齢がどうのこうのではなくて、自分の体が結局ついていかなければみずから判断できる方々ばかりですから、若い者をリードして引っ張っていく力があるんだったら、僕は別に、おっしゃるとおりだろうと思います。

田中盛雄第1ブロック会計：私も一応支部長という道を経験させていただきましたが今の皆さんのお話でもう集約されていますが一番感じるのはリーダーになられる人の情熱が人を動かします。私がやっているときはちょうど今のブロック長が第3支部長で相当な加入率も上げておられましたし、今現在では市川第2支部長がそうですが結局私たちは情熱が全然違うんですよ。

多分皆さんたちは会社をそれぞれ情熱を持ってやられていると思いますけど、やはり法人会にかける情熱をすぐく私は感じまして、これからは第1ブロックにしろ情熱を持った人がやっぱりどんどん続いていってくれないとこういう加入率もできないのではないかと感じました。

お酒は自己負担 役員会は昼に

鹿野：ブロックの財政ですが、あるブロックの話でも非常に逼迫して、もうこっちもさっちもいかないという話が

出まして、その後事務局で話をしてい
ると、第1ブロックの運営がモデルケ
ースになるんじゃないかと聞いたもの
ですから。

佐藤ツブロック長…第1ブロックは原
則的にお酒が入る会ときは自己負担
にしています。支部長会なんかはも
う逆に昼にしたんです。昼は一切お酒
は出さないというところでやっています。
私はほかのブロックのことはよく知り
ませんが、逆に多少、余裕があ
るかなという感じです。

鹿野…ブロック研修会と特別研修会が
あって、大体予算を使い切ってしまう。
そうすると他の事業計画が立てられな
い。先ほどのバス旅行のときに多少ブ
ロックのほうから助成ができるという
話だったんですけど、他のブロックの
場合は全然そういう金額が出せないとい

何かしようと思ったときに金銭的な
ゆとりがないので、三つの大きな行事
以外の運営が全くできない。

佐藤ツブロック長…その予算を年間行
事のどこにポイントを置いてどう使う
かというのは、やっぱりブロック長な
り副ブロック長なりが会計さんと相談
してやられればそんなに難しいことでは
ないんじゃないでしょうか。

3つの行事だけに使うというのは何
か私は不思議だなと思います。何が一
番必要で2番目が何かというように、行
事にはやっぱり順番があると思うんで



すよ。

予算的に収入はそんなに大きな差が
あるわけじゃないでしょう？支出との
バランスじゃないですか。会社運営も
みんな同じですよ。

鹿野…今回もバスの研修旅行やゴルフ
大会をやられていますよね。第3ブロ
ックも計画があります。第2ブロック
も小張さんになって今度2回目の研修
旅行があります。ブロック単位の動き
が少しずつ出てきました。

佐藤ツブロック長…金銭を使わない行
事の一つとして、「歩け大会」なんかは
本当に2〜3万のお金で十分できてい

るわけです。これはもう会費もなしで
すね、弁当代ぐらいですから。そうい
うふうにメリハリをつけた行事をそれ
ぞれ考えればよろしいんじゃないです
か。お金をかけなくてはいかんとかで
はなしに、多少知恵を絞ってやれば私
はできると思いますけど。

鹿野…日帰りのバス研修旅行は、全く
オリジナルで考えられたんですか。
佐藤ツブロック長…そうです。オリジ
ナルです。これは各支部長さんに相談
しながら、私と田中さんである程度
企画してやりました。

研修会は電話攻勢 電話代も 馬鹿にならない

鹿野…研修会の出席率が高いというか、
出席者数が多いんですね。

佐藤ツブロック長…人数が多いです。こ
れは各支部長さんに電話攻勢とか、や
っぱりそういう努力をしてもらってい
るんです。電話でお願いすると。です
から最初の返事は決して多くないんで
すよ、出席の返事は。ですから今度は
欠席の方にもう一回電話を入れて、「何
とか来てくださいよ」という呼びかけを
した結果、100人前後の集まりにな
っていると思います。

五十嵐…第4支部の場合、やはり役員
会をよく開くわけですが出席率が非常

にいいんですよ。昼ご飯をいただくとい
ってやはり支部はわずかな予算で
すから、予算を割っていつちやうわけ
です。組織委員から会議を開け開けと
いう通知が来ますよね。会員増強だ何
だ、税務研修会だとかいって。

だから出席率を上げるために支部の
役員会を開いて役員の皆さんから誘っ
て。だからまとめてやる時はどうし
てもお金がかかってしまう。

役員会を開けば開くほど、アルコー
ルが入らなくてもお金が足りなくなっ
てくるというのは事実です。支部が苦
しいんです。

ブロック活動にまじめに取り組んで、
じゃあお茶だけ一杯といっても、なか
なか人は集まらないのでお弁当ぐら
いはやはり出さなくてはいいけないん
です。こういうふうが集まっちゃうと何万と
いってしまいうわけですから、そうい
う点で開けば開くほど支部は苦しくな
って「金がないんだよ」ということにな
ってしまう。

太田…総務で言っていますからね。僕
も質問しました。「どんどん開いてお金
がなくなってしまう支部はどうするの」
と言ったら、「いや、そのときは言っ
てください」と、言ったら出るのか出ない
のかわからないけれども、言っただけし
いと。どんどん開いていくのですね。

五十嵐…グループ研修会の場合はブロ
ック長が言うように、やはりお願いす



田中盛雄
第1ブロック会計



須田三好
第5支部長



五十嵐良夫
第4支部長
副ブロック長



佐藤安彦
第3支部長



太田順一
第2支部副支部長



井上正人
第1支部長



佐藤則好
第1ブロック長

るほかはないんですよ。

もう出る人はわかってるんだけど、返事をよこさないんですよ。あれは事務局も困っているだろうと思いますが、私も初めて支部長をやらせていただいた返事をくれない方々へ電話をするわけですから、電話代も本当に「タダじゃないよ」と言いたいぐらいになるところがあるわけです。毎回毎回、何かやるたびに電話してというところ。

でもお願いしなくちゃしょうがないですから、理解と協力をお願いして、ぜひ参加と。「今、出席率がたったこれだけしかないんだよ」と言うと、「じゃあおれ、しょうがないから行くよ」。「息子さんでもいいから出してくれる?」とか、そういうふうにお互いに見える間柄になるということでしょうね。佐藤ブロック長…支部単位でいうと、企業の町内会だと思えます。町内会でけんかしたってしょうがない。やはり仲よくしなくてはいいんです。ですからそういうお願いもできるわけです。

変わったテーマで 研修会を考える

鹿野…どこのブロックでも多分同じだろうと思いますが、商店街があるところは比較的加入率がよくて、商店街を外してしまうとなかなか難しいという問題がある。それでもやはりこのブ

ックは加入率が高い。

佐藤ブロック長…正直言って、ご自分の自宅に会社があつて奥さんと2人で働いている会社も結構ありますよ。そうするとなかなか入会できない。入会のメリットも、ほとんど講習会、研修会に出られませんか、ご主人が別な仕事で行ったり、管理会社の場合にはほとんど入らないといいますが、何度攻めても入らないということです。鹿野…数字的には東法連でもベスト3とかに入るぐらいの加入率だろうと思います。今度は数から質への転換を考えます。

佐藤支部長…量より質ということになると非常に不況というかデフレというか、この世の中の状況がいろいろ、町工場を抱えていたり、こういう山の手方面、下町方面、その地域性によってそれぞれの企業の格差が相当出ます。研修会の出席なんかもワンパターンではなくて、もっと引きつけるようなテーマを与えて、また講師のお話も現在を打破するような何らかの新しいテーマを入れたり、明るく持っていくような方法も研修会の魅力だと思います。我々が商売の中でもっと新しいニーズを取り入れてお客を呼ぶ、商品売る、いろいろな面で取り込んでいくというおもしろい形の——じゃあ漫才でも落語でも呼んで、いろいろそういう拾った話をやってみたらという話も第

1ブロックでは出ています。先ほどの研修会の出席率はブロック長のリーダーシップもありますが、ちょっと変わったテーマでやれば、また集まりも違うんじゃないかと思っています。

鹿野…第2ブロックや第3ブロックは1部2部構成にして、独自の講師を選んで話をしていただいているという例は少しずつ出てきています。

佐藤ブロック長…今度の研修会までに研修委員のほうから2〜3リストアップした形で講演者をどなたかにお願ひしたいというふうになっていきます。井上…高い出席率というのはブロック

長も言っていたんですが、やはり最初は本当に少ないんですよ。ブロック長が先頭に立つ人はどういう姿勢でいくかというのを各支部長に説明します。そうすれば支部長と我々のほうも電話攻勢をして「来てくれませんか」みたいな形でやっていきますから。やはり「先頭に立つ人」というのがまず1点だと思います。未加入会員の加入の運動とかありますよね。あれで2年間やって今回一番思ったのが、やはり数から質というのが必要じゃないかと。いろいろ私も試してみたいですよ。行き先を決めてだれがどこに行くとかやってみて、あとは何も指示をしないでとか来てくれる人だけに何とかお願いしてやってみようとかいろいろやっていたんですが、なかなか自発的というのがな

いです。

どうしてもそういうところを感じて、先ほど第2支部の話を聞いて、会員の中でいかに協力してくれる人が多くいるか、これがやっぱり第一ではないかと思います。1人いればそれによって何人かがいると思いますから、自然と人数も集まってくるだろうし、それが私がこの1年半ぐらいに痛切に感じたことです。第1ブロックの場合は支部長さんが頑張っているのと、それに協力する人間が多いんじゃないかと思います。

須田：第5支部は地域柄、非常に住宅地なものですから。

企業も自宅で作っているとか、自宅マンションとか非常に多いです。今川4丁目に一つのマンションの中に法人さんが六つも七つもあるという地域もありまして、例えば研修会等で電話攻勢で声をかけるんですが、どうしてもだんなさんと奥さんとでやっているという人が多いんですよ。

ですから、「奥さん、もしよろしかったらかわりに出てください」と言うのと、「いや、ちょっと電話番号をしていなきゃいけないから」とか。それが言いわけになってしまふといけません、研修会で第5支部が一番出席率が悪いというのが実態なんです。

あとは研修会等については、確かに研修委員の方が一生懸命にやっていた

だいていますし、何人出してくれとか声をかけてくれますので、それを励みに一生懸命我々も電話攻勢をやっているんですけど。先ほど佐藤さんがおっしゃったように、研修会自体が多少マンネリ化しているんじゃないのかなという気はします。これからちょっと内容を変えて、趣向を変えてやっていけば、また違った研修会になるかなと感じています。

太田：ブロック長が先ほど言われたみたいに第1報の答え、返答は本当に少ないんですよ。当地区は役員が10名おりますので、自分を含めてもう一人お誘いしなさいと。そうすると、暗黙の約束事で20名は行けるということで進めているんです。だんだんやっていて自分が行けないときもありますから、そうすると「何だか数合わせみたいだな」という声も出たんです。

いいものであれば多分興味を示して出席するんじゃないかと思えます。研修会に行かない人というのは全然興味がなくて行かない人と、わかっているんだけどつまらないだろうなという人と二つだと思えます。興味ないというのは、通知さえ「え、来たの？」なんていう人ですよ。

で、どっちを誘ったらいいのという話が出たんですよ。全然興味がない人も誘ってみたら。通知は来ているんだけどどうしようかな、忙しいから、

つまらないかなという人も誘ってみたという話も出ました。

だから先ほど言ったように、自分も含めてもう一人、一緒に誘って行きなさいと。で、20名ぐらいになるんですが、何となくつまらないときもおもしろいときも、数合わせになつてしまっているなというのが多分現状だと思います。

数を合わせなくてはいけないということはないけれども、何か研修が成り立たないと格好悪いという話になると思うんですよ。でも私たちが無理やり誘って引く張ってくるのではなくて、みんなが行きたいとか、「いつやるよ。来いよ」と言ったら「うんわかった」と言ってくれるぐらいの何か引きつけるようなものがあれば誘うほうも楽だし、行くほうもいんじゃないですか。行くほうは何が目当てかわからないけれども、懇親会でビールを飲めておいしいものを食べられるのが目当てかもしれないし、話なんかどうでもいいやという人もいるかもしれないし、その辺はわからないです。多分これからの課題だと思えます。でも誘い方としてはそういうふうにお誘いをしています。

アイデアを出して

工夫を

佐藤（ブロック長）：今までがずっと長年同じやり方ですし、先ほどどなたか

がおっしゃったようにマンネリ化していることは事実です。それはやっぱりいろいろな方をお呼びしてやるのも一つの方法だし、やり方をそもそも原点から変えていくのがいいのか、これから2年3年かけて各委員の方は考えていただきたいと思っています。

各ブロックとか各支部会で意見を出すことも大切ですが、それ以上に研修委員会の方角づけの案を幾つかつくって、皆さんに「どうだ」というものを出していただくほうが早いし、いいと思います。意見を聞いてからではもう遅い。五十嵐：税法が変わりますよね。これは当然、税務署を通しての研修会ですから、税法がこういうふうになりましたよというものはやはり皆さんに知らせしめる責任があるわけですよ。それをしゃくし定規に税法が何条でこうなつてこうなつたんだよと言っても、税法のわからない方はなかなか理解できないわけです。だからおもしろくないわけですよ。

ですから我々の生活に密着した、例えばこの税はここがこうなんですよというふうなイラスト入りみたいな講習の内容に変わっていけば、質的な面も向上していくのかなという気がしますけど。

それをもっと質を上げて、じゃあどういうふうにやったらいいのかといったら、いろいろな創意工夫でみんなの

力を合わせて、我々が本当にみんなが喜んでくれるものを企画する必要があるでしょうね。僕はそう思います。

佐藤（ブロック長）…人間だれしも目で見えて聞くほうがいいから、税務署の方の講演を受けないで、いま五十嵐支部長がおっしゃったように税制改正のポイントのところをビデオか何かでおもしろく、わかりやすく、そういうもので説明したほうがかえって皆さんは覚えやすいんじゃないでしょうか。私はそう思います。それプラス何か違った講演なんかを結びつけねばね。そういうものを研修委員会でも検討してもらわなければね。

五十嵐…もう一つ、格調が高いというんですか、何かそういうものを高めるためには、出席者名簿は税務署の署長以下、法人関係者は全部目を通して感謝していますよとか、そういうものをきちんと義務づけるというふうになれば、多少意識の向上にもつながっていくだろうと思います。「ああ、税務署長も副署長も調査官も見ているのか」というふうになれば、精神的に違ってくるだろうと思うんですよ。

僕は本部に要請したいのは、そういうことを一つ総務のほうでアイデアとして、税務署も真剣に取り組んでくれていますよという方向に主導体制を持つていていただければ、現場をあずかる支部としても少しはやりよくなる

のかなという気はしますよ。「じゃあ、おれは行けないから、うちの担当の経理事務員を出す」というふうになってくるだろうと思うんです。そういうふうにならなくとも意識を変えていけば質が向上しますよね。

佐藤（支部長）…もう決まったことの税法の中で、例えばそういうふうにしても何にしても法人税にしても、決まったことについての説明会というのはいくら飽きてしまうわけです。現在の国会の中でやっているとか、政治の中で税法をこういうふうに変更していかなくてはとにかく景気がよくなるらない。中小もこういう形で税法の中でやっていかなくてはいけないという、新しい税法の取り込み方をご説明するとか。決まったことを説明しても、「税理士にはわかってるな」だけで終わってしまいますから。

我々中小に対しての個人の資産をふやすとか、株の問題とかいろいろな問題もあります。

現在の政治の中で取り込んでいる税対策に対して、こういうことで今動いているという形のを研修の中で取り入れるというか、何か新しいものを見つけてやるような形がよろしいんじゃないか。

ましてだんだん年代層が変わってきますから、今までの相続どうのこうのという古い方がだんだん亡くなってい

って、次の世代へ。次の世代は税とは何ぞやとかいろいろそこら辺の問題からまたいろはから始まると、飽きちゃう話はもう今は見向きもしませんね。そういう意味で、一つの方法を変えてみたらと思います。

五十嵐…今回は配偶者特別控除が廃止だとかいう案が出ていますよね。あれは非常に我々の生活に密着した問題があると思います。普通のサラリーマンの方々に対しては非常に生活に密着した税法の改正ですから、そういうものをちゃんとわかりやすく、説明するのにも必要でしょうね。

佐藤（ブロック長）…私から一つ総務委員会にお願いしたいことがあるんですが。それはどういうことかといいますと、会費の問題です。今、月額1000円から5000円まで分かれているんですよ。こんなに分ける必要はあるのかなということがまず第1で、それから1000円対5000円というのはあまりにもちょっと差があり過ぎるのではないかと思うんです。受けるメリットとか恩恵はみんな同じなわけですから、本当はもっと差を詰めるべきだと思います。

1000円の会社は何%、2000円の会社は何%、3000円の会社は何%、5000円の会社は何%か、事務局のほうで出されればすぐわかるわけです。ですからこれを早急に総務委

員会で議論していただきたい。鹿野…誌上をかりて総務委員会への提言です。ぜひ回答をいただきたいと思っています。

本来なら中山委員長が司会をするはずでしたが、所用のため出席できなかったことをお詫びします。本日はお忙しい中をありがとうございました。



会員増強運動 中間報告

12月31日現在、組織率が70.8%で東法連3位の高率に。

11月29日に荻窪タウンセブンに於いて会員増強運動の中間報告が行われ、5支部の支部長が成果や、今後の活動状況の説明がありました。8月からの未加入法人の再チェックなど、各支部の活発な組織活動により素晴らしい数字を残す事ができました。今年度の加入総数の目標は3,000社。あと175社。3月31日まで有効です。

支部別加入率(平成15年1月10日現在)

ブロック	支部	稼動数	会員数	加入率 (%)
1	1	161	108	67.1
	2	152	141	92.8
	3	175	154	88.0
	4	187	153	81.8
	5	158	105	66.5
	計	833	661	79.4
ブロック	支部	稼動数	会員数	加入率 (%)
3	12	157	92	58.6
	13	104	67	64.4
	14	85	67	78.8
	15	144	127	88.2
	16	65	60	92.3
	17	137	121	88.3
	計	692	534	77.2
ブロック	支部	稼動数	会員数	加入率 (%)
5	24	128	85	66.4
	25	133	81	60.9
	26	164	98	59.8
	27	112	101	90.2
	28	214	174	81.3
	計	751	539	71.8

ブロック	支部	稼動数	会員数	加入率 (%)
2	6	101	65	64.4
	7	54	51	94.4
	8	221	135	61.1
	9	252	145	57.5
	10	97	49	50.5
	11	163	86	52.8
	計	888	531	59.8
ブロック	支部	稼動数	会員数	加入率 (%)
4	18	137	92	67.2
	19	144	81	56.3
	20	141	88	62.4
	21	113	98	86.7
	22	124	69	55.6
	23	166	126	75.9
	計	825	554	67.2
会員数				
事務局				6
合計	稼動数	会員数	加入率 (%)	
	3,989	2,825	70.8	

会員増強月間結果報告

数は活力 数は質

組織委員会副委員長 山下民子

組織委員会活動に、いつもながらご理解ご支援を頂きありがとうございます。

毎年加入率の向上を強くお願いし、お忙しい中、本当にご苦勞をお掛けいたしております。

しかし、私たちの法人会をよりよく運営し活動して行く為には、会員数を増やし、多くの法人にその活動に携わって頂く事が最も大切な事のひとつだと思っております。多数の法人が加入している事で会は活発になり、対外的な力も増してゆく事ができるでしょう。

中小企業にとっては、これからも経営の難しい局面が続いてゆくものと思われまます。私たち中小企業はそれぞれの力を寄せ合い、対外的な発言力を一層強めなくてはならない時代になって来ています。皆様の会員増強運動が「数は活力・数は質」となり、私たち自身の企業や地域の発展に結びつく法人会活動になるものと確信しています。

10、11月と会員の皆様にお願いしました会員増強月間もすばらしい結果を出しました。最終番を迎えた11月29日、

上野萩窪税務署副署長、田邊第1部門
統括官、田中第1部門上席、水島会長、
松澤副会長、宇田川副会長、各ブロッ
ク長、支部長、副支部長、井口委員長
以下組織委員の方々と、大同生命の職
員の皆様のご出席を頂き、榊原組織委
員会副委員長の司会で報告と体験談を
話し合う会が開催されました。

水島会長挨拶

ブロック長さん支部長さんご苦勞様
です。70パーセントに届くような組織
率に到達したようです。ありがとうございます。
やはり組織委員長を通じて皆さんが
努力した結果、そして各支部各ブロッ
クで努力した結果だと本当に感謝して
おります。

上野副署長

東法連の中でもベスト3に入っている70
パーセントを超えたようで研修会や各
種行事などだけでなく組織率のうえでも
すばらしい萩窪法人会だなと感じて
おります。今後とも萩窪法人会の皆様
には適正な申告と共にご協力をお願い
いたします。

井口委員長

皆様のお力を得ましてたくさんの方

員増強をやって頂き、ありがとうございます。
ました。

景気の停滞したこういう時期であり
ますので7月8月に法人会入会対象事
業者総数の削減をやって頂き、加入対
象の分母を減らす事でパーセントを上
げる活動をいたしました。続いて10月
11月にたくさんの方の会員増強をやっ
て頂きました。支部活動を通じて皆さ
んが地元に着しているお陰で上げら
れた成果ではないかと心より感謝申し
上げます。

今年には組織委員会を5つのブロッ
クに分け各副委員長をつけ、支部長さん
に支部会を3回以上開催して頂くなど
運営体制の見直しもいたしました。

今日現在81社増強で加入率70・5パ
ーセント（平成14年度11月27日現在）
になっております。これには大同生命
さんにも大変お世話になりました。ま
た、今日、正副会長会で年間3回以上
会員増強のための会を開催して頂いた
支部には2万円の軍資金を差し上げる
事が決まりました。活発な会の運営に
お使い頂くと嬉しく思います。

組織率が東京都でベスト3に入り、
組織委員長をやらせて頂いてこんな嬉
しい事はありません。法人会は加入率
も非常に大切なのですが、組織を支え
るのは会員の数だと思います。

数は活気に値すると思いますので、
これからも会員の増強を1社でも多く

増やして頂くようお願い申し上げます。

第3支部 佐藤安彦支部長

10月11月の増強に3社を目指してい
ましたが、4月から9月の5社のみで、
まだ目標を達していません。12月末ま
でに何とか3社増強して、目標の8社
を達成したと考えております。

各社を回った中で、この処へきての
景気後退や色々の問題で各種の業者の
方の非常に困った状況のお話を聞かせ
て頂いて思う機会がありました。

法人会が地域の活性化を促し、町内
会のような気持ちで地元の法人の皆様
のために何とか考えて頂けるようにし
て頂きたいと思いました。

第12支部 小泉憲雄支部長

4社目標で現在2社加入となってい
ます。期間中の枠にこだわらず、来年
にかけても動いて行きたいと思ってい
ます。

11月に加入して頂いた1社は新設法
人さんで、初めて行って即入会して頂
くことができ、やはり新設法人への加
入案内は外せないと感じました。

第18支部 及川晃司支部長

私はまわる会社を絞って活動してお

ります。組織委員から12社お願いする
と言われているが、現在9社です。
引き続き今期いっぱい会員増強をやっ
て行きます。

第23支部 岡田暢夫支部長

私の支部はそうそうたる先輩が揃っ
ていらしてじっとしておれません。

つまり諸先輩が宮前地区の組織づく
りを本当によくやって頂いているとい
う事です。だから支部の皆さんが組織
的に動いてくださる。

運がよかったなと感謝しています。

第24支部 中山一昭副支部長

2社と数は少ないのですが、以前、
私が支部長をしていた時は加入率50%
前後を行ったり来たりしていたのです
が、20%も近く上がりました。これは
山中支部長の機動力と小笠原副ブロッ
ク長の人脈と大同生命が門前払いをく
いながら一生懸命回ってくれていたお
かげだと思います。2社ですが我々にと
っては嬉しい2社です。もう1社達成
したいと思っています。

会議に引き続き懇談会が開かれまし
た。皆様のご苦勞話やノウハウ、知恵
を交換し合って有意義な交歓会となり
ました。

山下第3ブロック長 インタビュー



山下達雄 ◎聞き手／中山一昭

明治時代に日本において真っ先に印刷業を始めた先祖を持つ山下氏に、
勉学に励んだ青春時代や証券会社での思い出、
印刷業へ独立したいきさつ、第3ブロック長としての抱負などをお聞きました。

飛び級で大学を卒業

第3ブロック長の山下達雄氏は新宿生まれの阿佐ヶ谷育ち。杉並第一小学校で過ごしたころの阿佐ヶ谷は、とても静かでいい街だったそうです。その後、杉並中学、現在の中大杉並へ進みますが、3年生のときに終戦を迎え、4年生に進級したときに制度が変わって、それまでは中学は5年生で修了するところを4年で修了できることになりました。

「私は躊躇なく4年修了で日本経済短期大学、現在の亜細亜大学へ進みました。1年生の終わりを迎えるころ、法政大学の3年生の編入試験の話を聞いて、つまり試験さえ受ければ飛び級が認められるというので、試しに受けてみたら、受かったかったです。ですから、2年で大学を卒業したんですよ。ただし、私は幼いころに母を亡くしていて、父親が商売に失敗したりして、どういうわけか小学校入学の手続きをしてもらえずに一年遅れて入っているんです。それを取り戻したんですよ」

戦後の、世の中が不安定な時代とはいえ、飛び級試験に合格することは簡単ではなかったはず。杉並中学時代には学年300人ほどのなかで常に5番には入っていたそうです。

大学卒業後は証券会社に就職。

「1年間は事務の仕事をしていました」

が、2年目に社長に呼ばれて、立ち会い代表者に指名されてしまいました」

山一、野村、大和、日興など大手証券会社でも、通常この立ち会い代表者は社長が行い、取引所で実際に株を売ったり買ったりする場合に人々たちを指揮、監督する役割を担います。大手の場立ちは100人にもなるそうですが、山下氏のいた山幸証券でも場立ちの人が10数人いました。

「600から700もある銘柄すべてを覚えて、しかも立ち合い場のなかですから、それを伝える形も覚えなければならぬ。55キロあった体重が40キロまで減って、最初は社長の恨みまじり。数いる先輩を押し退けて代表者にさせられたわけですから、先輩にも随分いじめられました。す巻きにして、裏の兜橋から川に放り込むなんて話まで伝わってきましたね」そんなことも今ではいい思い出とか。その証券会社も、のちに社長と資本家の内紛の末、解散となり、当時の大蔵省のあっせん社員はそれぞれ別の証券会社へ移っていきました。最後まで残った山下氏は、これは「サラリーマンをやめて独立しろ」という天の啓示だと感じて、印刷業を始めることを決意されます。

伝統ある印刷業を始める

山下氏の先祖は、三重県津市で代々

回船問屋を営んでいましたが、船の難破をきっかけに没落、松阪市に転居、お祖父さんの代で新たに印刷業を始めました。日本に印刷技術が入ってきたのは明治3年のことですが、そのわずかな十年後の明治13年でした。

「祖父は印刷業のほか鉄鋼業など、いろいろな事業を手広くやっていたんですが、私の父は印刷業を嫌って、東京でカフェやビリヤード場を始めたんです。本所、深川でビリヤードを始め、新宿千駄ヶ谷、そして阿佐ヶ谷にも店がありました。でも、商売がうまくいなくて、祖父は印刷業を廃業し、すべての財産を一人息子である私の父につき込み、祖母と一緒に東京へ出てきたんです。結局父はすべて商売に失敗して、後に阿佐ヶ谷で小さな印鑑や名刺を扱う店を始めましたが私が小学生の頃には貧乏のどん底でした。母もその頃亡くなりました、私が3歳の時でした。」

私が独立するときに印刷業を選んだのは、廃業したけれど明治13年から続いていた家業の、同じ血が流れる何かと呼ばれたんでしょうね」

独立当初は、印刷機械などありません。三鷹市役所をはじめ、田無、保谷、武蔵野などの市役所を営業して回り、注文を取ってくると、仲間の印刷屋で版を組んでもらい、また別の印刷屋で刷ってもらう。そんなことを続けながら、商売を確立されました。

自分が味わった貧乏生活を、家族にだけはさせたくないと、浮いた遊び一つせず、仕事に専念されたそうです。

そんな山下氏を支えてきたのが奥様です。

「うちの家内はめげないんです。どんなにお金がなくても、いつもニコニコしている。今日があるのは家内が助けてくれたからだと思っています。」

家内は股関節が悪くて、先日、8時間にもわたる大手術をしたんですが、今は『大丈夫、大丈夫』なんて言いながら半日以上をかけて1万歩以上歩いています。私のほうがバテちゃって」

50億分の1の奇跡を大切に

山下氏と法人会の出会いは杉並法人会でした。その後、会社の移転を経て、荻窪法人会へ。青年部会ができたところのことです。

時代も変わり、法人会も若手が増えるなか、第3ブロック長としての抱負をうかがいました。

「第3ブロックはリーダーシップの取れる方が多いんですよ。協力精神が旺盛だし、何かにつけて面倒を見てくれます。ですから、組織率もおそらく一番だと思います。私は支部長を約8年間やりましたが、ずっと80%を維持しましたね。特に北口商店街は商店ですから入れ代わりの激しいところですか

ら、そのなかで80%以上を維持することとは大変です。皆さんの協力を得たからその数字です。今、世界の人口は約50億人。1人の人と出会うのは、50億分の1の確率です。これは宝くじを当てるより大変、奇跡なんです。私は、その奇跡を大切にすることが大事だと思っています」

山下氏は、会社の社是である「なごやかに一歩ずつ前進」のほか、「おまえが悪いと指を差したら、残りの3本の指は自分を向いている。人のせいより自分のせいだ」「つらくてもいい上っているほうがいい、人生の階段」神様がくれた宝物、心は歳をとらない、すばらしい贈り物など、常に心がけていることを語ってくださいました。

また、健康が一番大事であり、法人会にあっても、まず健康で、情熱を傾けていかなければならないとおっしゃいます。法人会活動のほかにも、保護観察司や、杉並区障害者雇用支援事業団理事また東京都印刷産業政治連盟幹事長として活動をされています。

その他、印刷製品に対しては通産大臣賞を始め数々の賞をうけており、全国商店連合会会長賞、全国商工会議所会頭賞、全国印刷工業組合会長賞等を受け且つ印刷組合にあっては組合功労賞等を受賞されているそうです。

そんな山下第3ブロック長のさらなる活躍を期待しています。

相馬秀行



文●相馬秀行(寄稿)

法人会入会当時

法人会に入会した当時のことは思い出せないほど古く、小竹会長の時代でした。

私も若く諸先輩のご指導を受けながら、法人会の活動を知ることになりました。最初は支部の幹事でした。支部長、副支部長さんは会活動に熱心に取り組んでおられました、私は単なる一役員でしたから活動と言ってもお手伝い程度でしたが役員改選ごとに昇格？という大変ですが、そのうちに副支部長となっております。

親友から引き継ぐ

昭和58年当時、同業であり親友でもある中島不動産の中島社長が法人会第45支部支部長でした。

区議会議員と区議会の各委員会の委員をも兼務されていた中島社長は熱心に議会活動を行い、議員の模範と示す活動家でありました。

そのため支部長の職務を執行することが時間的に難しくなり、会の改選期を期して、私に支部長のお話が回ってまいりました。

活性化には人材育成

今日まで支部長を続けておりますが

老人の部に属する年齢となり後任を探す時期になりました。

会の活性化のためには若い人たちの輩出が必要であり法人会組織自ら人材育成に務めるべきだと思います。

駅前の悩み

私の支部は荻窪駅南側で荻窪5丁目が区域で稼働数は法人会で3番目で214社あり会員は法人会の中で最多の174社が加入しております。しかし、駅前に位置する関係から毎年法人の異動が激しく現会員数を維持するのに頭を痛めております。

役員の皆様に感謝

最近のビルはオートロックが多くなり入会勧誘が難しくなりました。知人友人を介して入会を勧めておりますが決して楽ではありません。

毎年10月から会員増強運動推進のため役員を集めて推進運動を展開しておりますが遅々として予想通りに進んでおりません。

増強運動を手抜きすると入会者を募ることが出来ませんので1年を通じて心構えが必要です。

なんとか毎年員数を合わせておりますが役員の皆さんの努力であり感謝しております。

高橋秀見



文●高橋秀見(寄稿)

今年で還暦

第9支部長をおおせつかつております高橋です。昭和18年生まれの未年です。今年で満60歳、還暦となります。西荻窪駅の北口で茶の小売業を営んでおります。生まれも育ちも西荻窪です。

父の事、母の事

戦争の真つ只中の時に生まれました。その頃父は静岡の連隊に入学中でした。私が生まれたとの報せを聞いた時、素晴らしい晴天で富士山がくっきりと見えたので「秀見」と命名したと後になってから聞かされました。

父が帰還したのは戦後しばらくしてからでしたので、それまで一度も父に会っていませんでした。なかなか父になつていなくて困らせたようです。でもキャッチボールをよくやったことは憶えております。

母は父の入隊中は幼い姉と私をかかえて、1人で店を守っておりました。もちろん近所の方々や親戚のお助けがあつたからやってゆけたのだと思います。かなりの苦労があつたと思います。

父は商店会、町会、組合などいろいろな役をやっていて、店に居る時の方が少ない程でしたので、若い頃から配達などの手伝いをさせられました。納

税貯蓄組合の役員をしている頃はよく会報などの配布を手伝ったものです。

昭和50年父が突然倒れ、あっけなく亡くなりました。今私もその年齢に近づいてまいりました。

長男が後を継いでくれそうので一安心というところです。

拡がる人とのつながり

法人会の研修会に出席するようになって研修以外にも様々な方々と接するようになり、交際の幅も拡がったように思います。

小俣さんから支部長をやれとおおせで支部長となりましたが、生来の優柔不断で支部の運営もままならずで迷惑をおかけしております。

増強運動につきましては、委員長の懸命な努力にもかかわらず、なかなか成果を上げられません。誠に申し訳ございません。

「西荻窪」にお役に立ちたい

これからは、私がかつていただいた教え、叱咤激励に報いるため生まれ・育ち・商いしてきたこの地に少しでもお役に立てるよう頑張りたいと思っております。

その一環として法人会があると考えております。

第1回ブロック対抗ゴルフ大会

第1回ブロック対抗ゴルフ大会が11月21日清澄ゴルフ倶楽部で行われ、

参加人数は66名と予想を超える参加者でした。

このブロック対抗ゴルフ大会は法人会活性化の一環として総務委員会により企画されたものです。

不景気風をモノともせずに参加者全員がアゲインストに立ち向かう勇姿こそ

荻窪法人会の真骨頂です。



個人戦ベストグロス賞の表彰される野村氏



ブロック対抗の優勝カップを受け取る市川氏



個人戦の優勝カップを受け取る新田氏



懇親会にてあいさつする水島会長

各支部活性化のきっかけに

広報委員 田辺二郎

平成14年11月21日(木)第1回ブロック対抗ゴルフ大会を開催致しました。これは、各支部の活性化の為にはどうしたら良いのだろうか?と言うお話が始まりました。小竹総務委員長が中心となり、新ペリア方式によるストロークプレーのブロック団体戦と、個人戦で行われ、場所は、坂田副会長のお骨折りにより、清澄ゴルフ倶楽部と言う素晴らしいゴルフ場で行う事が出来ました。各ブロックから、3〜4組のご参加を頂き、総勢66名の人数の大会となりました。朝から天気が良く、風も吹かないゴルフには絶好のコンディションでした。参加者の皆様は「いかに我々の普段の行いが良いか!」を証明している」と口々にお話をされていました。ゴルフ終了後、西荻窪のこけし屋さんで表彰式と懇親会を行いました。加藤総務副委員長の司会で、水島会長の乾杯で始まりました。こけし屋さんからは特別にヌーボーワインを出して頂き、楽しいひと時を過ごす事が出来ました。しかし、皆さんの一番の関心「これは誰が優勝?」このブロックが優勝?と言う事でした。まず初めに個人戦の表彰式です。ブービー賞から60位、50位と飛び賞の発表の後、ベスト3の発表です。優勝は第1ブロックの新田 郷

氏(グロス85ネット73)、準優勝は、第5ブロックの野村一男氏(グロス82ネット73・6)、3位は第1ブロック住田零二氏(グロス88ネット73・6)でした。また、準優勝された野村一男氏は82の好成績でベストグロス賞まで受賞されました。さて、団体戦は各ブロックの上位8名のネットの合計で競いました。栄えある第1回ブロック対抗ゴルフ大会の団体戦優勝は、佐藤則好キャプテン率いる第1ブロックでした。第1ブロックの上位8名のネット合計は、604・6と準優勝の621・3位の627・8を大きく引き離しての優勝でした。第1ブロックキャプテンの佐藤則好氏の代わりに市川忠義氏が壇上に上がり、水島会長より優勝カップと賞品を授与されました。続く準優勝は及川晃司氏率いる第4ブロック、3位は保坂房雄氏率いる第2ブロック、4位は野村一男氏率いる第5ブロック、5位は宇田川紀通氏率いる第3ブロックでした。最後に坂田副会長の挨拶で開きとなりました。挨拶の中で、坂田副会長はこの様な楽しい有意義なコンペを引き続き続けたいと話されておりました。今後楽しみにしたいと思います。最後にありますが、皆様の口々から「普段の研修会ではお会いしない方々にお会いすることが出来、大変に有意義な一日だった」とお話をされているのが非常に多かった事が印象的でした。

秋のブロックバス研修会

今年の秋は3ブロックがバス研修会を企画しました。

それぞれのブロックともにユニークな研修会を企画し参加者も35名以上と大変好評でした。

秋の一日をブロックの仲間と美味しい食べ物や楽しい語らいなど、見聞を広めたバス研修会の報告です。



第3ブロック「恵林寺・ハリボテ信玄公の前にて」



第1ブロック「筑波山にて」



第2ブロック「川越散策」

第1ブロック「バス研修の旅」

第1ブロック長 佐藤則好

第1ブロック初めてのバス研修旅行を企画したところ、37名の参加者があり楽しい中、懇親を深めることが出来たのではと自画自賛しております。

見事な秋空の中、遅刻者も無く定刻7時30分に西武井荻駅前を大型観光バスにて一路筑波山を目指し出発しました。外還道を経由し常磐道へ、その間2度トイレ休憩をしながら署の田中法人上席作成の税金クイズを勉強。久しぶりに皆さん、問題とニラメッコ。意外に難しかったようで、最高点は10問中9問正解者が女性の方1人でした。5、6問正解が平均のようで正解内容を見て、皆納得!!良い勉強会でした。

アルコールも入り隣席の人との会話も弾みだした頃に、筑波山へ到着。全員で記念撮影し、ロープウエーで山頂へ。山頂での皆さんの第一声が「寒い!!」しかし霞ヶ浦や関東平野が一望でき、眺望の素晴らしさに満足して下山。大きなガマガエル看板に見送られ、昼食場所でもある陶芸の里、益子焼の窯元へ直行。12時頃に無事到着、早速美味しい鴨鍋料理とアルコールで昼食。寒かったのか熱燗のお酒が大人気。アルコールの勢いでワイワイガヤガヤと会話が弾んでいました。昼食後は買い物グループと、ろくろ体験グループ

に分かれて行動。希望者17名でろくろ体験(ほとんどの人が初の体験)。指導員から教わりながら、悪戦苦闘しながら作品づくりに熱中(仕事もこのように熱中すれば間違いなく大成功!!)、自分の作品に一喜一憂し、釜入れをお願いして終了。(焼き上がりは1ヶ月後)

最後の目的地笠幡稲荷へ出発

菊まつりや野口雨情記念館を見学し、最後に参拝(何を願ったのかは秘密です)して、帰路につきました。車中、カラオケ大会が始まり、のど自慢の方の美声、アルコールの力を借りてのだみ声と大変賑やかな車中でした。

カラオケ大会は五十嵐第4支部長の厳正?なる審査で入賞者が決まりめでたく終了。和気あいあいの雰囲気の中で予定時間通りに無事出発地へ到着後、笑顔で散会。来年もやってくださいという声が多くあり、執行部の1人として大変嬉しく思いました。参加者の皆様、ありがとうございました。

川越散策

第2ブロック

秋の研修旅行の報告?

第八支部長 木村達夫

小江戸といわれる川越は「イモ」の街とのことで、「イモ」づくりの昼食を、いも膳で摂ってから喜多院に向かうことにしました。川越を案内いただくシル

バーボランティアのガイドさんから、「今日はとても喜多院の駐車場には停められない」との連絡が入り、急遽散策後の集合場所を変えました。喜多院に着いてみると、成る程広い駐車場はいっぱいで、やたらと我々みたいな者で溢れていました。

赤い背広を旗のかわりに目印にして下さいという二人のガイドさんについて2グループに分かれて案内をしてもらいました。喜多院の山門を入ると境内は相当広く、お祭りの時のように様々な屋台が出ておりました。喜多院は、徳川家康と仲の良かった上野寛永寺の住職となった天海和尚によって創設されたお寺とのこと。家光や春日局の使っていた江戸城の一部の建物を移築しており、そこを拝観できます。建物の拝観の後、五百羅漢に案内されました。500とはいうが、正しくは540の羅漢が鎮座しているとのこと。羅漢とは何ぞや、お釈迦様の弟子のことである、とのこと。石に彫られた羅漢様は一体一体が顔と体の表情が違っていました。そこにドングリの様な実が落ちておりましたので何ですか、と訊くと、平家物語に出てくる沙羅双樹の木の実とのこと、本当の沙羅双樹を初めて見ました。

喜多院から途中成田山川越別院に寄って、蔵造りの街並み通りまで歩きました。蔵造りというだけあって、道の

両側に古めかしい蔵造りの店が並んでいました。蔵は普通家の奥にあって外からは見えないが、川越の蔵は道に面していてそこで商売をしていることが特徴である、との説明を受けました。ここも道の両側を我々みたいなのがぞろぞろと歩いており、車は徐行を余儀なくされておりました。土産物屋やお菓子屋だけでなく、日常品の店も蔵造りの店構えをしており(コンビニ「サンクス」も蔵造り)、川越の風情を創り出しておりました。この一角を曲がると、

「菓子屋横町」です。川越城の回りに寺が建てられ、寺と城の間が商人街となっていて今の蔵造りの街並み通りとなり、寺の門前町としてこの菓子屋横町が出来たとのこと。この日は歩くのも大変なほどの人混みでした。昔の駄菓子屋風の店が狭い道の両側に立ち並び、井草八幡のお祭りの日のように混雑していました。参加の皆さん方が買い物したいように見えたので、ここでガイドさん達とは別れ自由行動となりました。1メートルもあるような駄菓子子を持って歩いている人がやたらと目立ちましたので、私も並んで350円で1本買ってお土産にしました。

8時に杉並公会堂前を出発、途中全十間の税金クイズをやって秩父祭り会館到着。税金クイズは、9問正解が2人、8問が4人、7問が7人、6問が6人、5問が10人と高い正解率でした。第1

問は、ブロック研修会の出席率の問題でしたが、我がブロックの出席率が最低であることを強調し、2月の研修会はこの正解率と同じように高くしよう、と、アピールしました。

秩父まつり会館から、長瀬の秋を車窓から眺め川越へ。「いも膳」で昼食の後川越市内を散策。4時半に川越発、関越道を走りながらビンゴゲーム。六時に一同無事で杉並公会堂前に到着。解散。参加者は、6支部10人、7支部9人、8支部7人、9支部6人、10支部4人、11支部4人、合計40人でした。

こんなに安くていいのかなあー 第3ブロッククリスマス 忘年日帰り旅行

第3ブロック長 山下達雄
年の瀬もおしこませました12月14日に忘年日帰りバスツアーを43名のたくさんの会員の参加のもとに山梨ワイン、ハープ、酒蔵そして日本一の宮ヶ瀬湖のクリスマスツリーの見学と盛りだくさんの内容で楽しくそしてあつと驚く安さで行いました。

つねつねデフレでは質素節約が大切と説く山下ブロック長のお言葉に従って、日頃利用している近畿ツーリスト(草野英子さん担当)の日帰りバスツアー4980円(他に保険料450円を1台お買上げして(40人以上ならOK)完全に貸切



ワインに皆さんほんのり赤いかなあー?

にし、発車、到着場所も従って自由にでき(公会堂での乗り降り可能)という利点もあって、多分自分たちだけでやってもバス代だけで終わってしまう料金で、昼食の山梨のほうとうと鳥井の他、帰りには①ピカピカ銀色の大きな新巻鮭1本②ズワイガニ1杯 ③清酒のミニボトル④ワインのミニボトル⑤健康石のパウダーなどの土産品までついて、皆さん両手いっぱい持って笑顔で嬉しそうにして帰宅されました。

美しいワインのシャトー勝沼

朝7時半定刻に杉並公会堂を出発したバスは中央道勝沼インターから10時にはシャトー勝沼に到着。ワインが出来るまでの工程を案内。マイボトルならぬマイ樽で1本お預かりしている場合は何と1樽250万円とかで驚き。白ワイン、赤ワイン、ロゼと試飲のあとシャトーの前で記念写真をパチリ。



何万個とある300年も続いている枯露柿の里のあるじと



日食の入口の樹齢300年余の柿の樹に驚く!



少しは美人になったハーブ庭園?

美人になるハーブ庭園で

次は10分ほどでハーブ庭園に着き、春になるときと花が咲き乱れて素晴らしい庭園になると思われる池の廻りで鴨など散策ののちシクラメンやシンビジウム、ランなどが温室一杯に広がる芳香の中を巡ってクラブハウスへ。健康に良くて美しくなるハーブ化粧品、の宣伝にわが法人会美女(一)たちがわれ先に群がってお店の売り上げを伸ばしていました。もの凄い購買力!

日食トルリン工場と山梨水晶

山梨と言えば宝飾が有名でその技術は世界一でパリのシャネルや有名ブランドが実はここで創られているそうです。遠赤外線線に効果があるトルマリンの布などを枕などにひくと頭や肩痛に効果があるとわが方の年令水準(?)をみて売り込むトークは甲州商人根性拔群。

信玄館で昼食後 恵林寺へ

巨大張りぼての信玄公の前で撮影後会場へ向かいましたが4980円に入っている昼食とは思えないくらいの名物ほうとう(宝刀)鍋や地鶏の鳥井などたくさんメニューで全員お腹一杯となり大満足。その後近くの枯露柿の里により今最盛期の干し柿作りを見てから、信玄公ゆかりの恵林寺の散策。『安禅不必須山水、滅却心頭火自涼』(あん

ぜん、かならずしも、さんすいをもちいず。しんとう、めっきやくすれば、ひもおのずからすずし)と書かれた山門をくぐれば、そこには素晴らしい庭園がひろがりどの樹林をとっても300余年の月日を経たものばかりで「風林火山」の信玄公のご遺徳を偲ばせるものばかりで、買い物ばかりで少々俗っぽくなった身を冷やしたのは私ばかりではないでしょう。

日本一高いクリスマスツリー

大月の笹一酒造で清酒の利き酒を3時に終了して神奈川の宮ヶ瀬湖に向かいましたが、途中渋滞が続いたり一寸としたトラブルなどで6時過ぎに到着。流石に日本一だけあって樹齢85年の30メートルのモミの木に約2メートルの星が飾られ1万個のイルミネーションにデコレーションされた様はまるでファンタジーの世界に迷い込んだようで、日比谷公園くらいの広さの樹々にも10万個の電飾のイルミネーションが飾られメルヘンの様な世界に招かれた様で「おー!!素晴らしい!!」の感嘆の声を皆さんあげておられました。村人に



日本一高いクリスマスツリー

よって17年前に始められ一大村おこしになっている様で私どもも見習なくては。最後に予定通り午後8時に杉並公会堂の前に全員無事戻って参りました。本日に一日楽しい旅のプレゼントに対し第3ブロック長に心から感謝します。また幹事の榊原昭アーバンファミリー社長、野口淳事務局次長にもお礼を申し上げます。研修も会員増強も全ての基礎はみんな仲良しで情報の交換が基礎と思っています。このたった一日の旅は、大きな意味、内容の充実があったように思います。

(記・旅行委員 渡邊直紀)

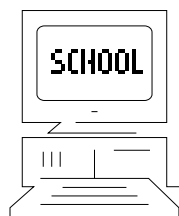
【参加者のうれしいお声】

■『昨日は大変お世話になりました。お陰様で創造を絶える光の祭典を堪能することができ心よりお礼を申し上げます。主人との共通の楽しい思い出がまた1つ増えうれしく思います。幹事様の細やかなお心使いには感謝しております。ありがとうございました』

(サン商会 斎藤敬子様)

■『こんなにお手軽なお値段でこんなに内容がある旅行も珍しいですね。第1ブロックでもバス旅行をやっていますが、参考にになりました。お招きを頂きお礼を申し上げるとともに5000円でお釣りがくるこんな楽しい旅行なら是非各ブロックでやりたいなと良いですね』

(第1ブロック九二紙業 市川忠義様)

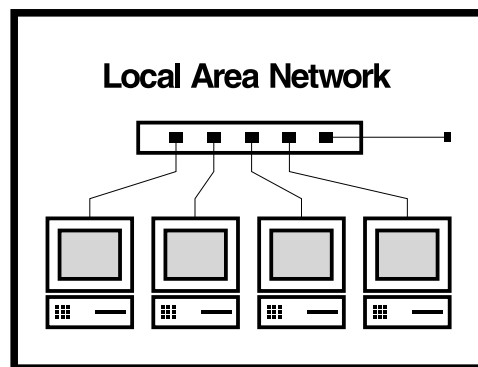


連載企画 12

誌上パソコン教室

【誰でもできるパソコン】

前回は少し脱線気味のお話でしたが、今回はパソコンとパソコンをつなげるお話をしたと思います。パソコンを2台以上お持ちであれば、1台1台独立したままよりはつなげて使った方がなにかと便利なものです。よく聞くLANについて、どんな物なのかをお話していきましょう。お相手は、パソコンは仕事上決められたことだけを入力することしか使っていなかった景子さんと共に、ウィンドウズパソコンで進めていきたいと思います。HP（ホームページ）小委員会の上田が担当いたします。



第12回

「LANでなんだ編」

パソコン（PC）が1台の時はいくらに使用していますが、新しいパソコンを購入すると古い1台を捨てるのが面倒だったりします。それよりも、古いPCのハードディスク（HDD）に保存してある色々なデータを新しいPCに移し変える必要が出てきます。最近では大容量の記憶媒体が出てきています。

例えば外付けHDDやDVDを使えば、データのバックアップを兼ねて保存しておきながら、新しいPCにもデータを移せるようになります。でも古い1台を捨てずに、新しい1台とつなげてみるのも手です。今回は、そんなお話をしていきたいと思います。

上田「景子さんは自宅にパソコンは1台ですね」

景子さん「自宅ではこの前購入した1台だけです」

上田「でも会社には沢山パソコンがあるでしょう」

景子さん「はい、あります」

上田「それらのパソコンはつながっていると思いますが、どうですか」
景子さん「良くは分かりませんが、パソコンの裏側に黒い線や水色の線が出ています」

上田「黒い線は電気のコンセント

から来ている電力線で、水色の線は多分パソコン同士をつなげるLANの線だと思いますよ」

口もあるタップのようなものです。パソコンのAとB、AとC、BとCと相互につながることが出来ます。ただし、3台が一斉にデータ交換をしようとすると、データが渋滞して時間がかかることがあります。

上田「そのLANについて今回はお話ししましょう」

LANはケーブルでつなぐと言いましたが、ケーブルにも速度を表す表示があります。10BASE-T、100BASE-TXと良く表示されています。数字の10とか100とかは、通信速度の上限の規格を言います。10は10Mbpsの意味で、100は同じように100Mbpsの意味です。

LANとはLocal Area Network（ローカルエリアネットワーク）の略で、その頭文字を取ったものです。すなわち、Localとは「地方の」とか「部分的な」、Areaとは「場所、地域の」、Network「網状のも、回路」と言う意味で、パソコンでは限定された場所・地域でパソコン同士をつなげたものと解釈できます。それに対するものは、WW（World Wide Web）インターネットに接続したWAN（Wide Area Network）があります。

最近では、ブロードバンドのように大容量のファイルをやりとりするようになりましたから、さらに高速な1000BASE-Tと言う規格も出てきました。

一番小さなLANとしては、パソコンを2台つないだのもです。この場合パソコン同士を直接LANケーブルでつなぐことができます。

上田「パソコンをつなぐと言うことが少しは分かりましたか」

これを小規模ネットワークと言う意味で「ピアツーピア」と呼びますが、最近ではインターネットを介して直接人間でファイル交換が出来ようになり、P2Pと書いて同じように表現されています。

景子さん「これでもうインターネットにつながってるんですか」

3台以上つなぐ場合には、ケーブルで直接つなぐことが出来ないののでHUB（ハブ）と言う中継機を使います。ハブはいわば電気の何

景子さん「会社のはLANでほかの会社からメールが来ますよ」

上田「そうですね、それでは続きをお話ししましょう」

上田「そうですね、それでは続きをお話ししましょう」

先ほどまではインターネットにつながれてない状態でのLANでしたが、この小規模ネットワークをインターネットにつながることにしましょう。

インターネットに接続するにはまずISP（インターネットサービスプロバイダー）と契約する必要があります。通常、電話回線で接続します。パソコンが1台しかないときにはパソコンと電話回線を直接つなげばよかったのですが、何台にもなるとそうもいきません。そこで電話回線とパソコンの間に先ほどのハブと似ていますがもっと高性能な中継機を紹介します。

それはルーターと言つ機器です。ハブとどう違うかと言いますと、ルーターには色々な機能があり、どのパソコンからもインターネットに接続できたり、何台も同時に接続することが出来たりします。一番の違いは、ルーターにはCPU（中央演算装置）すなわち頭脳を持っていると言つことです。ルーターには、大体LAN側のポートが4個とWAN側のポートが1個付いています。ですからその仕様ですと、4台のパソコンをネットワークでつなげる事が出来ます。WAN側に電話回線をつなげば、その4台から同時にインターネットに接続することが出来ます。ハブを使つていて起こる渋滞も、ル

ーターがうまくデータが流れるように処理してくれますので、あまり気になりません。さらにもっといろいろな機能があるのですが、今回は省略しましょう。

上田「どうですか、ルーターって賢いでしょ。」

景子さん「ルーターが賢そうなのはなんとなく分かりますけど、みんなが一斉にインターネットにつながたらやっぱり遅くなるんじゃないかしら。」

上田「その通りです。良く気が付きましたね。」

景子さん「以前回線速度がどうかのお話がありましたよね。」

上田「そうです。どんなにLAN側が便利になつても、インターネットにつなぐ回線が遅ければ、1台でも時間がかかっているのに何台も同時につなげばそれ以上時間がかかるのは、すぐに予想できます。」

景子さん「いやですね。」

上田「そう言わず、以前のお話しを思い出して下さい。」

景子さん「ADSLとかでしたっけ。」

上田「良く覚えていてくれました。(感激)」

インターネット回線のおさらい

電話回線では、ISDNで64～128Kbps、ADSLで1～5～12Mbpsの通信速度が今の

所可能です。光ファイバー回線では、10～100Mbpsの速度が可能で、

bpsはビットパーセカンドの略で、1秒間に1ビットの意味。

パソコンのファイルなどの大きさを表すbyte（バイト）は、8ビットで1バイト。1K（キロ）バイトは1024バイト。1M（メガ）バイトは1024Kバイト。1024000バイト。ちなみに2Mバイトの画像を受信するには、64Kbpsの速度の場合64Kbps

8Kバイト/秒ですので、2048Kバイト÷8Kバイト/秒=256秒=4分16秒かかることになりま

す。2Mbpsの速度の場合2Mbps=2048Kbps=256Kバイト/秒=2048Kバイト÷256Kバイト/秒=8秒となりま

す。当たり前かもしれませんが、速度の速い回線を使うことによってストレス無くファイル等をやりとりすることが出来るのです。

上田「回線速度のおさらいが済んだところで、景子さんの会社ではパソコンの裏から出ている線が邪魔になりませんか。」

景子さん「大体は床下に収納されていますけど、時々配置換えとかがあると何だかんだと大変なことになってるみたい。」

上田「そうですね。」

景子さん「私には関係ありませんけどね。」

上田「そうですね。」

景子さん「どうしてですか。(怒)」

上田「ご自宅でもパソコンが増えなくても、インターネットにつながりには回線をパソコンまで引いてこなくてはなりませんよね。」

景子さん「そうですね。」

上田「模様替えしたりするときに邪魔になりませんか。」

景子さん「まだするつもりないもん。」

上田「・・・。」

景子さん「ごめんなさい。なにか良い方法があるんですか。」

上田「はい、あります。(ホッ)」

無線でLANを組む

LANをケーブルで接続する方法を有線LANと言いますが、ケーブル無しで無線で接続する方法がだんだんと増えてきました。先ほど回線速度のおさらいをしましたが、最近の技術の進歩はやっぱり早く、無線でファイルをやったりする速度も格段に速くなってきました。無線LANの規格としてIEEE802.11a/bがあります。a規格の伝送速度は54Mbps、bが11Mbpsとなっています。最近ではbと同じ周波数帯を使用してaと同じ速度が出るg規格も策定される予定です。無線LANで必要なものは、簡単に言えば発

信機と受信機ですが、有線LANに比べるとまだまだ高価なのが玉にキズです。

発信機は、ルーター自身が発信機能と有線LANポートを持った製品が出ていますので、ルーターの近くには有線をつなぎ、階上とか階下のように別の部屋でノートパソコンを使う場合には、無線機能を使うと大変便利です。受信機はカードタイプの物が多く、これもノートパソコンのカードスロットに差し込むだけで対応できるようになっています。ただ、配線が不要で大変便利な反面、ネットワークへの不正侵入や情報漏えいという危険もあるので、セキュリティには十分注意が必要です。

今回は、LANについてお話ししてきましたが、まだ良く分からないと言つ方も多かったと思います。昔から、「習うよりも慣れる」とよく言われます。パソコンも自分で何とかしようと思つ気持ちがあれば、何とかなつていく物です。ぜひ皆さんも、自分で調べてワンステップ上への気持ちをしましょう。でも時々ドツポにはまることもあります。めげずに頑張ってください。

なお、皆様からも、こんな体験失敗、質問等ございましたら、法人会事務局までお寄せください。

税務コーナー

納税証明書を請求される方へ ～請求に当たっての留意事項～

■ 納税証明書の種類

税務署で発行する納税証明書には、次の種類がありますので、どの種類の納税証明書が必要となるのか納税証明書の提出先等であらかじめご確認をお願いします。

納税証明書の種類	証明内容
納税証明書「その1」	納付税額等
納税証明書「その2」	「申告所得税」又は「法人税」の所得金額
納税証明書「その3」	未納の税額がないこと
納税証明書「その3の2」	「申告所得税」と「消費税及び地方消費税」に未納の税額がないこと（個人用）
納税証明書「その3の3」	「法人税」と「消費税及び地方消費税」に未納の税額がないこと（法人用）
納税証明書「その4」	滞納処分を受けたことがないこと等

■ 納税証明書を請求する際に必要なもの

納税証明書を請求するためには来署される際には、次のものを持参していただく必要があります。

(1) ご本人（法人の場合は代表者本人）が来署される場合

- ① 納税者ご本人の印鑑（法人の場合は登録のある代表者の印鑑）
- ② ご本人（法人の場合は代表者本人）であることを確認できるもの（例えば運転免許証、健康保険証など）
- ③ 手数料の金額に相当する収入印紙

(2) 代理人が来署される場合（個人の場合はご本人以外のご家族、法人の場合は従業員も代理人となります）

- ① ご本人（法人の場合は代表者本人）からの委任状 ※代理人には納税証明書の使用目的を伝えておいてください。
- ② 代理人の印鑑
- ③ 代理人本人であることを確認できるもの（例えば運転免許証、健康保険証など）
- ④ 手数料の金額に相当する収入印紙

最近、納税したものに係る納税証明書を請求される場合には、その「領収証書」をご持参いただければ、お待ちいただく時間が少なくて済みますのでご協力をお願いいたします。

■ 手数料の計算方法

納税証明書の交付請求には手数料が必要ですので、手数料に相当する収入印紙を事前にご用意ください。

手数料の金額が次の算式で求められます。

種類	税目数	年度	枚数	単価	小計	合計
その1	×	×	×	400円	円	
その2		×	×	400円	円	
その3 (その3の2、その3の3) その4			×	400円	円	円

以上により計算した手数料の金額に相当する収入印紙を事前にご用意ください。

※現金による手数料の納付はできません。

事前に納税証明書交付請求書にはられる場合、収入印紙には絶対消印しないでください。

■ その他、不明な点は税務署にお尋ねください（荻窪税務署 TEL3392-1111）

納税証明書交付請求書は、国税庁のホームページ (<http://www.nta.go.jp/>) からダウンロードすることもできます。

申告書はご自分で書いて提出はお早めに

●相談及び申告書の受付は

所得税……………平成15年2月17日(月) から3月17日(月)

贈与税……………平成15年2月 3日(月) から3月17日(月)

個人事業者の消費税・地方消費税 ……平成15年1月 6日(月) から3月31日(月) までです。

- 税務署では、1月1日～3日、土曜、日曜及び祝日の窓口業務は行っておりませんのでご注意ください。
なお、書類の提出は、郵送または時間外文書収受箱をご利用ください。

税務署では、申告納税制度の趣旨から、確定申告書等の提出書類について、
ご自分で正しく作成していただく「自書申告」を推進しております。
つきましては、確定申告書等を作成される方のために、
申告書作成会場において記載方法のアドバイスを行っております。

税務署に来署される際には、「計算器具」や「筆記具」などをお持ちください。

確定申告期間中は、税務署は大変込み合います。
確定申告書等は、「確定申告の手引き」などを参考にして、
できるだけご自分で正しく、丁寧に書いて早めに提出してください。

所得税の還付を受けるための確定申告書は、1月から提出できます。

還付金の受取には銀行などの預貯金口座への振込みを、また納税は預貯金口座からの口座振替をご利用ください。
なお、納税について口座振替をご利用されない方は、
納付書(税務署又は金融機関窓口にて用意してあります。)にご自身でご記入の上、
必ず納期限までに納税してください。

期限内に申告や納税をしなかったり、間違った申告をしますと、本来納めていただく税金のほかに、
加算税や延滞税を納めなければならない場合がありますのでご注意ください。

●定率減税の適用をお忘れなく!

平成14年分の所得税については、昨年に引き続き定率減税が実施されております。
定率減税額は、次の①と②のいずれか少ない方の金額です。

①平成14年分の所得税×20%

②25万円

所得税の申告書の記載に当たっては、定率減税額の控除漏れや計算誤りがないよう、ご注意ください。

※提出される際は、申告書第一表と合わせて申告書第二表もお忘れなく。

税理士のニセモノにご注意を!

申告書作成等を依頼する場合には、税理士であることを確かめて。

納税表彰式

平成14年度荻窪税務署、納税表彰式が杉並会館に於いて11月13日挙行政、
法人会より次の方々が受彰されました。



【署長表彰状受彰者】(敬称略)

井口一与常任理事【組織委員長】(下段右より3人目)、山下達雄常任理事【第3ブロック長】(下段右より2人目)

○上段右より4人目水島会長、6人目上野荻窪税務署副署長

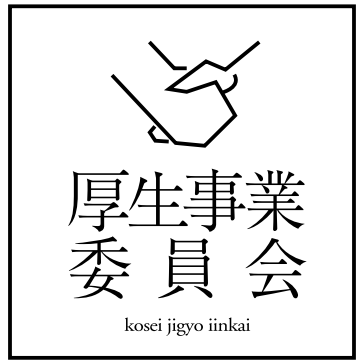
○下段右より1人目山下夫人、4人目鈴木荻窪税務署署長



【署長感謝状受彰者】(敬称略)

小張兼弘常任理事【第2ブロック長】(下段右より6人目)、市川忠義理事【第2支部長】(下段右より3人目)、

志村正之理事【第20支部長】(下段右より2人目)、八方淑夫理事【研修副委員長】(下段右より8人目)



新世紀を生きる

厚生事業委員会 岡 博文

厚生事業委員会では、毎年開催している「健康セミナー」を今年も共催をアメリカンファミリー生命保険会社、後援株式会社アーバンファミリーの協力により「がんをテーマに「新世紀を生きる」として、各専門医である星野泰三先生、水上治先生、陳瑞東先生の3人をお招きしディスカッションによる「がん」の診断と治療を的確に診断して、代替治療をすることにより不治の病から生きる希望が現実のこととして報告された。

会場はこれまでになく熱気をおびて次々と質問があり各先生方も代替治療の重要性を説かれていました。

一方、代替治療には、保険診療の適用が充分でなく経済的に負担が少なくないので、法人会推進のガン保険への加入が各先生方より提言されました。また、当日「月

刊誌もつといい日」編集スタッフより取材があり、1月号に掲載されました。

「月刊がんもつといい日 1月号より抜粋

代替医療の重要性と可能性を実現

荻窪法人会の健康セミナー「新世紀を生きる」で

（社）荻窪法人会厚生事業委員会／主催 アメリカンファミリー生命保険会社／共催

現在、ガン患者の7割が、何らかの代替医療を実践していると言われる。2002年11月15日、東京都杉並区西部地域の企業経営者の集まりである荻窪法人会（会長・水島隆年）・厚生事業委員会の主催で行われた「健康セミナー新世紀を生きる」は、代替医療の重要性と大きな可能性を示した。



熱心に講義を聞く人々

講師は、食事療法に力を入れ、がん患者のグループカウンセリングや免疫強化療法も指導する東京衛生病院健康医学科部長の水上治医師、免疫療法、リンパ球治療に積極的に取り組むブルミエールクリニック院長の星野泰三医師、元癌研究会附属病院の医師で、漢方薬を使ったがん治療に力を注いでいる陳瑞東クリニック院長の陳瑞東医師の3人。

まず水上医師が、「リコピンやアントシアニンなど、野菜や果物に含まれる天然の抗ガン剤物質をファイトケミカルという。ファイトケミカルは旬のものに特に豊富に含まれ、効率よく摂取するにはできるだけ丸ごと生で食べるのが良い。野菜と果物をたっぷり取って油を極力抑える食事療法は、がんを予防し、再発予防にも効果的」と、日ごろの食習慣の大切さを語った。

次に星野医師が、「リンパ球を人口的に増殖させ、大量に体内に入れることで免疫力を向上させられる。このリンパ球療法は、6年間の実績で患者さんの4割が生存しているという、非常に生存率の高い治療法。転移がんのうち播種性転換には特に効果がある」と、いくつかの症例を紹介しながら解説。「がん治療は、西洋医学、漢方、免疫療法をバランスよく取り入れることが大事。互いの相乗効果によ



わかりやすく解説する講師の方々

って、効率よくがん細胞をたたけると語った。

最後に、かつては抗ガン剤の開発にも携わったという陳医師が、「抗ガン剤は薬であり毒でもある。がんを縮小させるために一度に最大量を使うと、がんはたたけるけれど副作用で患者の体力が落ちてしまふ。しかし、少量ずつ数回に分けて投与すれば、QOLを保った状態で延命できる。つまり大事なのはさじ加減。また漢方薬を上手に使うことで、副作用を抑え、かつ免疫力を高めて抗ガン剤の効果を最大限に引き出すことができる」

と語った。

質疑応答では、健康補助食品、温泉療法、物理療法といった代替医療への質問のほか、カルテの開示やセカンドオピニオンに関する質問も。これらに対して、「がんは手ごわい病気。代替療法だけで治そうとするのではなく、西洋医学とうまく併用するのが良い」（星野医師、「最近では代替医療を受け入れる医師も増えている。カルテの開示やセカンドオピニオンに不快感を示すような医師や病院は、避けたい方がよい」（水上医師）などの回答があった。



社会貢献活動事業委員会の事業として

「荻窪チャリティーコンサート」を開催

社会貢献活動事業委員長 大澤喜一

社会貢献活動事業委員会は、第6回「荻窪の音楽会」に参加して11月13日（水）タウンセブン8階会議室において「荻窪チャリティーコンサート」を開催した。

「荻窪の音楽会」は「クラシック音楽を楽しむ街・荻窪」の会が杉並区文化・交流協会と共催し、杉並区および杉並区教育委員会を後援として開催しているが、目的とするのは、街づくり、街興しである。もともと荻窪に息づいてきた文化性を生かした催しとして「荻窪の音楽会」はスタートした。こうした流れにのって、私は「法人会の会員は街の中で商売をやっているのだから音楽会に参加する事を通じて地域のために少しでもお役に立てばよい」と考え、チャ

荻窪チャリティーコンサート

主催：荻窪法人会 社会貢献活動事業委員会 共催：「クラシック音楽を楽しむ街・荻窪」の会



演奏する「アンサンブル・ミュゲ」

リティーコンサートで昨年に、続いて2回目の参加をいたしました。

事前の準備も周到に、打ち合わせ会議で段取りを協議し、「鉢植えプレゼント」やポスター、チラシも作成、会員への告知も事務局が徹底して広報する。こうして催しで頭の痛いのが予定人員に対して果たして何人の参加があるかという点である。

しかし、それは危惧することであつたが、当日を迎えて、会場は

予定人数をはるかに超し、評判を聞いてご来場していただいた当日参加者を何十人もお断りする羽目になった。

演奏は、前回に続いて「アンサンブル・ミュゲ」。鈴蘭という名を付けた地元の弦楽四重奏団で、昨年の大好評に今年もお願いした。伝統のクラシックとポピュラーなもので誰でも親しめるものをお願いして選曲。曲目は、モーツァルトの「アイネ・クライネ・ナ

ハトムジークより」。ドヴォルザークの「弦楽四重奏曲「アメリカ」第1楽章」。その美しい旋律に聴き惚れる。誰でも知っている楽しい曲の「デイズ・メドレー」、千と千尋の神隠しの主題歌「いつも何度でも」。「サウンド・オブ・ミュージック」、あつという間に時は過ぎていく。大拍手と共にアンコールで終演。皆さんこの日のコンサートに大満足。会場を魅了し大成功であつた。副委員長の矢澤末張さんの締めめの挨拶で無事閉会となった。

今回の大盛況では、定員に対してオーバーする参加者申込み受付の調整。また「鉢植えプレゼント」の先着順という処理の在り方など、人気のある催しにはついてまわる問題はあつた。しかしそれ以上に、大好評であつたことで当委員会の目的は達成されたと思つている。

なお、チャリティーで集まった金額10万円余をより地域に役立てて欲しいと「荻窪の音楽会」に寄付をさせて頂きました。



大盛況だったチャリティーコンサート



7月例会 国会見学

広報委員 田辺一郎

平成14年7月29日（月）午後2時の集合でしたが、20名もの方に参加して頂きました。

まずは自民党総裁室です。総理大臣がいらないのを良い事に椅子に座つての写真撮影です。国会議事堂見学は半分の方が初めてで、それだけでも感動した上に、特別なお計らいにより普段入れない委員会室や中立の間にも入れてもらうことが出来ました。途中、議員食堂にて口を潤し、石原伸晃行革大臣室へと向かいました。大臣は外出中でしたが、秘書から今後の行政改革についてのちょっとした講演を聴き、質疑応答までして頂きました。ここでも大臣の椅子に座らせて頂いての写真撮影をさせて頂きました。

午後6時からは、六本木のSAGAにて懇親会を開催し、お聞きとさせて頂きました。

海外研修（in台湾）

幹事 真野 大

今回は4年振りの海外研修でした。参加者は10名、午前10時に成田を出発、約3時間で台北に到着です。街並みは、日本と香港の中間の様に感じました。

早速ホテルにて講義です。今回賛助会員の阿部様のご紹介で、富士写真フイルム（株）台北事務所の池田所長様にお忙しい中お願い

致しました。

講義の内容は台湾の経済状況、習慣、そして大陸（中国）との関係です。特に台湾は世界の工場（中国）に、産業だけでなく、人口の約15パーセントにもあたる人が流出し、とても大変な状況であるとのこと、今後の会社経営にとっても参考になるお話を聞くことが出来ました。

2日目、3日目は市内観光です。故宮博物院・總統府・中正紀念



（上）ホテルでの講義。（左下）全員で記念撮影。（右下）台湾料理を満喫

堂・龍山寺などを回り、その他にも現地で特別にガイドをして下さった林さんのおかげで、普段観光客が行かないような場所（屋台・問屋街・市場・お茶屋さんなど）を、少し足早ではありましたが、見て廻ることが出来、とても有意義な時間を過ごせました。

2日目の夜、台南担仔麵という高級海鮮酒店にて台湾料理を満喫し、皆様夜の繁華街に元気に旅立たれて行きました。



太平洋クラブ&アソシエイツ江南コースにて記念撮影

東法連青連協 第11回チャリティーゴルフ大会

幹事 関谷晴弘

平成14年10月3日（木）太平洋クラブ&アソシエイツ江南コースにおいて東法連青連協第11回チャリティーゴルフ大会が開催されました。

この大会は、ゴルフへの参加を通じて東法連青連協第4ブロック

に所属する法人会青年部会がチャリティー募金に協力し、その収益金を各法人会が社会貢献活動に当てる目的で毎年開催されております。

今回の大会には、荻窪法人会からの14名を含み27組95名の参加者があり、約35万のチャリティー募金が集まりました。また大会は好天にも恵まれ、荻窪法人会からも複数の入賞者があり、盛会のうちに終了することができました。

10月例会 落語を楽しむ会

広報委員 田辺一郎

天気予報もはずれて、朝から降り続く雨のなか今年も多数の来客で会場は満席となり、荻窪税務署の上野副署長、親会の宇田川副会長の来賓挨拶、そして、河又部会長の挨拶ののち、古今亭寿輔師匠の皆様にご披露を行っていただきました。今回は、桧山うめ吉様には、俗曲をご披露していただき、桂米丸師匠にトリをかざってもらいました。チャリティー抽選会でも、寿輔師匠の進行で場内は活気にあふれ閉会となりました。



(上) 古今亭寿輔師匠。(左下) 桧山うめ吉による俗曲。(右下) 満席の会場

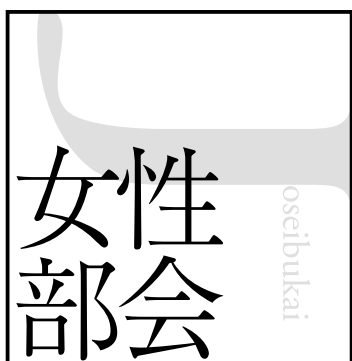
全国青年の集い

広報委員 田辺一郎

11月22日全国青年の集いに出席してまいりました。今年の会場は静岡で、朝9時30分からの部会長サミットには、河又部会長に出席していただきました。

なお、19時30分からは毎年恒例となりました、『大きな輪』に当部会から4名参加させていただきました。『大きな輪』というのは簡単に申しますと、全国の法人会青年部会が集まり、交流を深めようという趣旨の元で、毎年行われている懇親会です。

全国の青年部会員の皆様と顔を会わせるというのは、減多にある事ではないので、毎年貴重な時間をすごさせて頂いております。



歩く会

女性部会幹事・広報委員 松原利子

10月16日（水）前日は雷が鳴り

嵐のような天気であったが一夜明け当日は秋日和になった。荻窪法人会女性部会の第4回歩く会がある。JR荻窪駅10時に集合。総武線で三鷹まで行き、駅前から調布行きのバスに乗り神代植物園前で降りた。入口で入場料を買った大半の人が半額料金で入れた、半額で入られた方はお年には見えなく若々しい。

公園内はそれぞれ自由散策であった。入口でバラ園からボランティアの方が説明している放送が聞こえたので、ほとんどの人がバラ園の方に行った。色とりどりに綺麗に咲き誇り、1週間後には更に見頃になるとの話であった。

このバラ園に270種類のバラがある。バラは害虫にかかりやすく週2回も散薬するので手のかかる花である。

陽気が暑くバラを見ながら休憩して出口の方に歩いた。

1本の桜木が咲いていた。寒桜かなとか話しながら「まだ冬に入っていないよ、じゃあ狂い咲きかも」「桜桜かもよ」とワイワイと笑いながら歩いた。バラ園を出て深大寺に行きそれぞれ願いを込めて参拝した。

食事は水神苑。庭には湧き水で作られた池が流れて大きな池には鯉が優雅に泳いでいた。食事は2階の和室。乾杯の後、次々と料理が運ばれ名物の深大寺蕎麦を舌

鼓した。美味しかった。予定していた時間より早く終わったため、送迎バスも早めて三鷹駅まで送ってもらった。そこで解散になった。

今回の歩く会は女性部会だけであった。お天気も良く楽しい時間を過ごし、良い思い出づくりになった。大勢の参加を頂きありがとうございました。次回の歩く会を楽しみにしています。



源泉部会研修会 年末調整の仕方

幹事 岩崎篤弥

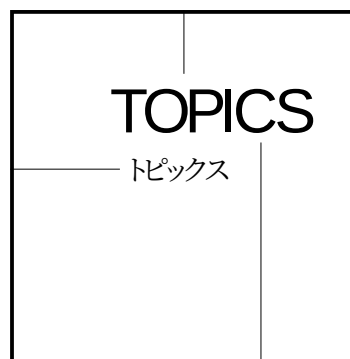
毎年この時期に行われる、荻窪税務署の方を講師として迎える年末調整説明会は今年も11月8日（金）に荻窪税務署の別館会議室で行われました。

事務担当者にとって毎年頭を悩ませる年末調整の研修とあって、今年もたくさんの方々に参加をしていただき盛況の内に始

平成15年度行事予定				
開催日	曜日	時間	場所	事業名
1/10	(金)	17:00	タウンセブン	新年賀詞交歓会
1/15	(水)	13:30	タウンセブン	決算法人説明会
1/16	(木)	15:30	こ丸屋会議室	源泉部会(やさしい確定申告の書き方)新年会
1/22	(水)	18:00	京王プラザ	女性部会 新年会
1/27	(月)	18:00	東信閣	青年部会 新年会
1/28	(火)	14:00	タウンセブン	研修シリーズ
2/4	(火)	10:30	法人会2階	組織委員会 正副委員長会議
		11:00	法人会2階	組織委員会
		13:30	法人会2階	新設法人説明会
		17:00	タウンセブン	新会員研修(歓迎)会
2/5	(水)	18:00	井草地域民センター	第1ブロック研修会
2/7	(金)	14:00	法人会2階	女性部会 税を知る会
2/12	(水)	—	—	第2ブロック研修会
2/13	(木)	14:00	法人会2階	源泉部会(雇用に必要な労働条件の知識)
2/14	(金)	18:30	タウンセブン	第3ブロック研修会
2/17	(月)	13:30	タウンセブン	決算法人説明会
2/18	(火)	—	—	第4ブロック研修会
		14:00	タウンセブン	研修シリーズ
2/19	(水)	18:00	こ丸屋	青年部会 賛助会員を囲む会
2/21	(金)	14,15,16,17:00	東信閣	正副会長、常任理事、理事会、懇談会
2/26	(水)	—	—	第5ブロック研修会
3/4	(火)	7:30	伊豆方面	日帰りバス旅行
		10:30	法人会2階	組織委員会・正副委員長会議
3/6	(木)	—	あいき	女性部会 第4回役員会
		11:00	法人会2階	研修委員会
3/18	(火)	14:00	法人会2階	源泉部会(復習と総まとめ)
		16:00	法人会2階	源泉部会役員会(総会議案書)
		14:00	タウンセブン	研修シリーズ
3/19	(水)	14,15,16,17:00	東信閣	正副会長、常任理事、理事会、懇談会
3/26	(水)	13:30	タウンセブン	決算法人説明会
4/2	(木)	13:30	法人会2階	新設法人説明会
4/3	(木)	13:30	法人会2階	新設法人説明会
4/9	(水)	15,16:00	東信閣	正副会長、委員長会議
4/11	(金)	14:00	—	源泉部会第29回総会
4/16	(水)	14:00	タウンセブン	研修シリーズ
4/23	(水)	—	—	青年部会 第29回総会
4/25	(金)	15,16:00	タウンセブン	正副会長会議、理事会
5/7	(水)	13:30	タウンセブン	決算法人説明会
5/9	(金)	16:00	東信閣	次期役員選考委員会
5/13	(火)	14:00	タウンセブン	研修シリーズ
5/16	(金)	15,16,17:00	東信閣	正副会長会議、常任理事会、次期役員候補者会議
5/22	(木)	13:30	吉祥寺第1ホテル	第30回通常総会

まりました。
今回は税務署の方も思考を凝らして、パソコンを使つての上映会・講習といつともよりも熱の入った研修会となりました。
年末調整の仕方も詳しく説明していただき、かなり分かりやすかったと思います。また出席者も年末調整をスムーズに行う為とあつ

て、眠い目を擦りながら皆さん真剣に聞いていました。毎年法改正等がある年末調整の手続きは、このような研修会がある、ないのでは随分と事務負担も軽減されるのではないのでしょうか？
まだ参加されてない方は来年是非参加してみてはどうでしょうか？



(右) 会場の食事。(真中) 乾杯する会員の方々。(左) 水島会長のあいさつ。

新年賀詞交歓会

平成15年荻窪法人会新年賀詞交歓会がタウンセブン8階において行われました。来賓には鈴木荻窪税務署長をはじめ関係諸団体の所長、会長など24名を含め総数141名の出席があり、熱気のある新年会となりました。

「水島会長挨拶」

皆さま明けましておめでとうございませう。昨年中は各ブロック、各支部そして組織委員の方本当にお世話になりました。新年会に鈴木署長をはじめその他関連の会長さまご出席いただき本当にありがとうございます。

税という問題に関してはそろそろ方向性ができたという感じがします。先般、商工会議所の会頭が話したように消費税に関しては上がっていく方向にあるのかなと、それから外形標準課税は何年かするとして下がっていく感じがします。

もう一つは軽くなる方は多分所得税、相続税はだんだん下がってくる。これは日本の国だけの問題ではなく世界の税制と同じものにして同じ競争の舞台に立とうという意識が世界に出てくる。そういう関係で相続税も安くなって行かざるを得ない。但し、消費税に関してはほとんど上がっていく。そんな世の中になっていくのではないかと我々やはり税を勉強して税の方向性というのを見極めて企業の次の年へ布石を打つことが必要になる。

不景気と暗い話はかりでございませうが、法人会も組織率も上がりました。皆さんやればできるでございませう。

今年もよろしく願ひいたします。